



2018年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年2月14日

上場会社名 株式会社 キトー

上場取引所 東

コード番号 6409 URL <http://kito.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 財務管理本部長 (氏名) 遅澤 茂樹

TEL 03-5908-0161

四半期報告書提出予定日 2018年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	38,712	9.7	2,607	32.4	2,064	25.2	1,576	139.0
2017年3月期第3四半期	35,291	10.7	1,969	31.5	1,648	33.1	659	44.4

(注) 包括利益 2018年3月期第3四半期 2,028百万円 (%) 2017年3月期第3四半期 276百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	77.58	77.22
2017年3月期第3四半期	27.55	27.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第3四半期	60,944	22,649	35.7
2017年3月期	60,137	21,239	33.8

(参考) 自己資本 2018年3月期第3四半期 21,730百万円 2017年3月期 20,343百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期		14.00		14.00	28.00
2018年3月期		15.00			
2018年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	3.6	4,400	4.5	3,700	13.9	2,500	31.7	123.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年3月期3Q	27,048,200 株	2017年3月期	27,048,200 株
期末自己株式数	2018年3月期3Q	6,714,102 株	2017年3月期	6,737,059 株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年3月期3Q	20,321,750 株	2017年3月期3Q	23,947,293 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、日本、欧米を中心とした先進国経済及び中国経済の持ち直しにより、総じて緩やかな回復基調が続きました。当社を取り巻く事業環境においては、引き続き日本国内ではインフラ関連に加え、民間設備投資が堅調に推移し、米国では、経済政策に対する期待感の高まりから設備投資需要が堅調に推移しました。

5カ年の中期経営計画の2年目となる当連結会計年度は、高収益体質への回帰、製品ポートフォリオ拡充による成長、真のグローバル企業への組織進化の経営目標達成に向けた各施策を前年度より引き続き実施しております。

堅調な需要に支えられ、売上高は対前年同期9.7%増収の38,712百万円となりました。利益面では、新基幹システム稼働による償却費等の負担はあったものの、工場操業度の上昇に加え、海外子会社の利益改善策が奏功し、営業利益は2,607百万円（前年同期比32.4%増）、経常利益は、2,064百万円（前年同期比25.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,576百万円（前年同期比139.0%増）と各利益共、増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。当社グループは、当社及び連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

セグメントの名称	売上高(前年同期比)	営業損益(前年同期比)
日本	16,999百万円 (2.5%減)	2,963百万円 (12.0%減)
米州	19,123百万円 (10.2%増)	878百万円 (10.4%増)
中国	4,638百万円 (12.0%増)	504百万円 (12.6%増)
アジア	2,688百万円 (1.2%減)	114百万円 (前年同期は111百万円の営業損失)
欧州	1,347百万円 (47.3%増)	△70百万円 (前年同期は33百万円の営業損失)
その他	1,559百万円 (81.9%増)	△60百万円 (前年同期は24百万円の営業損失)

(日本)

国内・輸出共に、足もとではインフラ関連及び民間設備投資共に旺盛な需要が継続しました。基幹システム入替に伴い、第2四半期において生産活動が一時的に低下しましたが、当第3四半期には、生産活動が安定化したことに加えて、旺盛な需要に対応しました。その結果、売上高は16,999百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は2,963百万円（前年同期比12.0%減）となりました。

(米州)

米国では、堅調な民間設備投資と共に資源関連向けの投資需要が顕在化した結果、売上高は19,123百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は878百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

(中国)

景気減速にも歯止めが掛かり、低調に推移していた需要にも底打ち感が見えました。その結果、売上高は4,638百万円（前年同期比12.0%増）となりました。営業利益は504百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

(アジア)

韓国ではフラットパネルディスプレイ業界向けのクリーンルーム用クレーンなどの需要が継続し、各地域で、底堅い需要に対応すると共に収益改善に注力しました。その結果、売上高は2,688百万円（前年同期比1.2%減）、利益面では収益改善策に取り組んだ結果、114百万円の営業利益（前年同期は111百万円の営業損失）と改善いたしました。

(欧州)

地域全体の設備投資需要の高まりを受け、積極的な拡販施策を実施した結果、売上高は1,347百万円（前年同期比47.3%増）となりましたが、販売費の増加により70百万円の営業損失（前年同期は33百万円の営業損失）となりました。

(その他)

豪州で買収したKito Australia Pty. Ltd. 及びその子会社を2016年6月末(業績については同年7月1日)より連結範囲に含めた結果、売上高は1,559百万円(前年同期比81.9%増)、営業損失は60百万円(前年同期は24百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

資産合計は60,944百万円と前連結会計年度末に対し806百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の増加1,001百万円、受取手形及び売掛金の減少1,081百万円、仕掛品の増加664百万円等によるものです。

② 負債

負債合計は38,294百万円と前連結会計年度末に対し603百万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金の増加417百万円、短期借入金の減少5,021百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加1,006百万円、長期借入金の増加2,214百万円等によるものです。

③ 純資産

純資産合計は22,649百万円と前連結会計年度末に対し1,410百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加990百万円、為替換算調整勘定の増加357百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期の連結業績予想につきましては、2017年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,069	10,071
受取手形及び売掛金	11,139	10,058
商品及び製品	12,130	12,656
仕掛品	2,019	2,684
原材料及び貯蔵品	1,251	1,605
その他	2,408	2,104
貸倒引当金	△60	△49
流動資産合計	37,960	39,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,507	4,439
機械装置及び運搬具(純額)	5,224	4,953
その他(純額)	2,216	2,337
有形固定資産合計	11,948	11,731
無形固定資産		
のれん	2,363	2,131
その他	5,295	5,267
無形固定資産合計	7,658	7,399
投資その他の資産		
投資有価証券	739	768
繰延税金資産	598	614
その他	1,231	1,298
投資その他の資産合計	2,569	2,681
固定資産合計	22,177	21,812
資産合計	60,137	60,944

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,438	5,856
短期借入金	6,730	1,708
1年内返済予定の長期借入金	3,149	4,155
未払費用	2,411	2,154
未払法人税等	128	541
引当金	944	991
その他	1,221	2,341
流動負債合計	20,023	17,749
固定負債		
長期借入金	14,298	16,513
役員退職慰労引当金	190	206
退職給付に係る負債	2,441	2,488
その他	1,942	1,337
固定負債合計	18,874	20,545
負債合計	38,897	38,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,226	5,223
利益剰余金	16,427	17,417
自己株式	△5,816	△5,796
株主資本合計	19,814	20,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	33	55
為替換算調整勘定	847	1,204
退職給付に係る調整累計額	△351	△350
その他の包括利益累計額合計	529	909
新株予約権	45	55
非支配株主持分	850	864
純資産合計	21,239	22,649
負債純資産合計	60,137	60,944

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
売上高	35,291	38,712
売上原価	22,219	25,217
売上総利益	13,071	13,495
販売費及び一般管理費	11,102	10,888
営業利益	1,969	2,607
営業外収益		
作業くず売却益	24	36
債務時効益	20	—
その他	93	108
営業外収益合計	139	145
営業外費用		
支払利息	292	295
持分法による投資損失	—	247
為替差損	44	—
その他	122	145
営業外費用合計	459	688
経常利益	1,648	2,064
特別利益		
負ののれん発生益	489	—
特別利益合計	489	—
特別損失		
減損損失	160	—
特別損失合計	160	—
税金等調整前四半期純利益	1,978	2,064
法人税等	1,351	430
四半期純利益	626	1,633
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△33	56
親会社株主に帰属する四半期純利益	659	1,576

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
四半期純利益	626	1,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	156	21
為替換算調整勘定	△1,149	274
退職給付に係る調整額	90	1
持分法適用会社に対する持分相当額	—	97
その他の包括利益合計	△902	394
四半期包括利益	△276	2,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△90	1,956
非支配株主に係る四半期包括利益	△185	71

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	9,753	17,301	3,744	2,719	914	857	35,291	—	35,291
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,676	46	398	—	0	—	8,122	△8,122	—
計	17,430	17,348	4,143	2,719	914	857	43,413	△8,122	35,291
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	3,368	795	448	△111	△33	△24	4,444	△2,474	1,969

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△2,474百万円には、セグメント間取引消去△131百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,343百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社の子会社である台湾開道股份有限公司(「アジア」セグメント)におけるのれんについて、当初想定していた超過収益力が見込めなくなったと判断し、帳簿価額の全額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において160百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、Scaw Metals Pty.Ltd.の全株式を取得したことにより、負ののれん発生益489百万円を計上しております。なお、当該負ののれん発生益は報告セグメントには配分しておりません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、Scaw Metals Pty.Ltd.の全株式を取得し、同社及びその子会社2社を連結の範囲に含めたことにより、「その他」を報告セグメントに追加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	9,704	19,070	4,370	2,687	1,320	1,559	38,712	—	38,712
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,295	53	267	1	27	—	7,644	△7,644	—
計	16,999	19,123	4,638	2,688	1,347	1,559	46,356	△7,644	38,712
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	2,963	878	504	114	△70	△60	4,330	△1,722	2,607

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,722百万円には、セグメント間取引消去△75百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,647百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。